

地方創生に関する市民意見について

平成28年1月28日

第4回富良野市総合戦略有識者会議提出資料

市長と語ろう！地域懇談会での市民意見

月 日	会 場	人数	人口減少や地方創生に関する主な意見
9月28日	麻町児童センター	15名	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物難民といわれる農村部の人々への支援を。 ● 老人ホーム入居を待機している高齢者対策が必要。 ● 高齢者に対して総合的に診てくれる医師の確保を。 ● 農業ヘルパーにもっと来てもらうようなPRをすべき。
9月29日	栄町コミセン	33名	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒字企業化比率が道内23位との説明であったが、あまり実態を反映していない気がする。 ● 民間アパートの家賃が高いことが富良野に住めない理由でもある。
10月6日	末広コミセン	22名	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住して富良野に住んでいたが、条件が合わずに帰ってしまったケースがあり、ひじょうに残念。 ● スイーツの価値が上がっており、それに関連する農作物の産出を高め、就業人口を増やせないか。
10月7日	西地区コミセン	43名	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家の対策を早急に取り組んでいただきたい。 ● まちなかの大型店閉店のうわさがあり心配である。 ● 若年女性が流出しない対策を考える必要がある。 ● 全国7位のブランドカに恥じないまちづくりを
10月9日	朝日会館	19名	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少対策は、一つの自治体だけの問題ではなく、国や北海道で取り組むべき課題と認識している。 ● 高齢者サロンは、高齢者が生きがいを持って生活できるようにしており、さらなる支援を

市長と語ろう！地域懇談会での市民意見

月日	会場	人数	人口減少や地方創生に関する主な意見
10月13日	南コミセン	27名	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少の要因は若者の流出だと思う。富良野市は農業と観光のまちなので、富良野の農作物を利用した農産加工品をつくるための施設をつくり、雇用の確保と地方や海外への輸出を検討してはどうか。
10月27日	東春地区コミセン	25名	<ul style="list-style-type: none"> ● 不妊治療している人への助成を検討してほしい。 ● 中富良野町の乳幼児医療費の助成は手厚い。 ● ファミリーサポートセンターの利用料が高い。提供会員には、もっと高齢者を活用していただきたい。
10月28日	鳥沼会館	30名	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼稚園児が、雨や雪の日に遊べる屋内施設がない。 ● 子どもの医療費が3歳で1割・小学生になると3割負担では、親の負担が大きい。 ● 鳥沼小学校区内にも学童保育が必要である。
11月4日	布部会館	20名	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者の人口流出を止めるためには、大学を誘致してはどうか。 ● 民間企業では、結婚相談所があるが、市でも結婚を希望する人を登録して実施してはどうか。
11月5日	布礼別集落センター	17名	<ul style="list-style-type: none"> ● 農作業ヘルパーは、富良野で越年をしたくても家賃の問題や、冬期間の就労場所の確保が難しく、他の地域に行ってしまう状況である。農作業ヘルパーが通年で働ける住環境を整えてほしい。

市長と語ろう！地域懇談会での市民意見

月 日	会 場	人数	人口減少や地方創生に関する主な意見
11月6日	麓郷集落センター	36名	<ul style="list-style-type: none"> ● 6次産業化は、余程センスがないと勝負にならない。 ● 北海道は、素材などは良いが、それを他のところに持っていかれて利益を取られている。 ● 売り方や作り方などを支援できるような仕組みが必要
11月9日	山部福祉センター	54名	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童の医療費助成や産婦人科の強化を。 ● 就職先がないため、転居している人が多いと思う。農作業ヘルパーの人たちは、冬に仕事があれば富良野に残るといった人が多いと思う。
11月19日	瑞穂コミセン	35名	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金が必要で勉強し、地元に戻ってくる若者の奨学金が免除になるというのは良いと思う。 ● 根本的には若者の安定した収入が一番重要で、コールセンターとかコンピューター関係などの企業誘致を
11月24日	東山支所	27名	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業女子と農家の後継者との婚活イベントが必要ではないか。 ● 子どもが屋内で遊べる遊び場を東山地域に整備してほしい。
11月30日	北の峰コミセン	37名	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは農業を基盤とした企業を誘致し、子どもたちを増やすことで人口減少を減速させるべきと考える。 ● 3歳未満の子どもの医療費をすべて無料にしてほしい。 ● 室内で自由に遊べる施設があれば良いと思う。

地方創生に関する市民意見について

総合戦略（素案）に関するパブリックコメント

平成28年11月26日～12月30日



市民からの意見

市民意見なし

（一社）富良野デザイン会議暮らしステーション（代表 浦田 吉）からの提案

「ふらのまちづくり未来 | a b」事業

【事業の目的】

- 子どもたちが地域社会との関わりを深め、生まれ育った地域への誇りと自らがこの地域で自立していくという気概を持ってもらうための「学びの場」が重要である。
- そのために、地域の各分野で活躍している大人と、好奇心を持った子どもたちがワークショップ学習を行い、地域の魅力発見と、自らが参加できる地域社会づくりの実践を通して富良野で「光」人材を育てる。

【事業の内容】

- 子どもも大人も対等な立場で、ワークショップにより地域課題や地域の将来、さらに子どもたちの体験活動を通して自立できる人材を育てる。
- 子どもたちを社会のフルメンバーとして受け入れ、大人とともに活動し、まちづくりに関わり、地域社会の主体として育成する。
- 富良野に帰り、新しい社会を創造する主役としての子どもを育成する。

(一社) 富良野デザイン会議暮らしステーション (代表 浦田 吉) からの提案年間計画

4月	5月	6月	7月
<ul style="list-style-type: none"> ● ふらのを学ぶ ● 地域の成り立ちを知る ● 地域のダイスキを見つけ出す 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のしくみを知る ● 「しごと」人との交わり ● 我が家の「しごと」を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の個性を知る ● アーティスト・クリエイターとの交わり ● 地域の「文化」を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふらのの「食」を知る ● ふらのの「味」を知る ● ダイスキな食を発想しよう
8月	9月	10月	11月
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の「農業」を知る ● 地域の「工場」を知る ● 新たな「産業」を発想しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の「祭り」を知ろう ● 地域の「祈り」を知ろう ● 新しい「ふらの」文化を発想しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の「人」を知ろう ● 地域の「活動」を知ろう ● 新たなコミュニティを創造しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の「経済」を知る ● 地域の「商店」を知る ● 新たな「お店」を創造しよう
12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の「観光資源」を知ろう ● ふらのを訪れる人を感動させよう ● ふらのを訪れる人とコラボレーションをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● わたしが望む「街」 ● わたしが望む「暮らし」 ● わたしが望む新たな「コミュニティ」 	<ul style="list-style-type: none"> ● わたしが望む「農業」 ● わたしが望む「商業」 ● わたしが望む新たな「しごと」 	<ul style="list-style-type: none"> ● わたしが演じます ● わたしが造ります ● わたしが望む新しい「ふらの文化」

単年度の事業費

1,470,000円